

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情 2 第 9 号	受理年月日	令和 2 年 6 月 3 日
件 名	ホームページ改正、新コロナ給付金、不親切区員に関する請願書		

【陳情の趣旨】

1 ホームページが、分かり辛く、区民に対して不親切、無関心を感じ不愉快である。
 ホームページ製作者以外理解しにくい構成である。

2 目黒区員の怠惰な発言、不親切な態度、上から目線の発言、新コロナに関しての、給付金、助成金に関しての知識のなさ、区民に対して親身になり話をしない。

【陳情事項】

1 <ホームページ改正請願>
 (改正希望箇所)

(1) 新コロナに関しての、

- ・ 『キャプション』を大きく、さらに、イラスト、デザインを加えて、カラフルでインパクトのあるデザインへ変更して欲しい。
- ・ 項目別に色分けをし、内容、詳細が一目瞭然のデザインへ変更して欲しい。
- ・ 『新コロナ給付金、助成金、持続金、』を色分けし、インパクトのあるデザインで差別化し、区民が迅速に目的の項目を探せて、アクセスできるような構成にして欲しい。
- ・ 新コロナに関する問い合わせ電話番号を新宿区、千代田区などのように大きく記載して欲しい。

(2) 目黒区独自の『区民への、思いやりを感じる言葉、新コロナ疲れの体、心、精神、に良いこと』など（下記一例参考）を、イラスト、デザインを加え提案して欲しい。

『他の区、市、県』は新コロナの件に関し、大きな文字で、インパクトのあるデザインで非常にわかりやすく、それに比べて、目黒区は、同一の文字色、大きさ（多少の違いはあるが）で、ただ記載しているにすぎず、区民への思いやりを感じない。

<例>

- ・ 品川区→ 品川TV
- ・ 世田谷区→区長の区民へのビデオメッセージ
- ・ 狛江市→アルコール除菌剤給付

その他の区は、独自の方法で、インパクトのあるイメージ戦略を施し、区民にアプローチしているにも関わらず、目黒区は、区民を思う気持ち、提案が全く感じられないホームページである。

2 <区員の対応>

区員のスキルアップが必要だ。

区民をお客様と呼ぶことは禁止。

区民がお客様ならば、区員は私たちの希望をいち早く反映し、叶えるべきだがそのスキルがない。

緊急事態として、新型コロナにおいて、給付、持続金、助成金、その他、目黒区として『区民に提案できる案件』を、全員の区員が把握し説明できる能力を備えるべきです。

そのための自治体ではないでしょうか。

新型コロナの質問を区役所に出向き質問した時に、区員は『区民の新型コロナ困窮に関して無関心』で、目黒区員もニュース情報レベルなので、ないも答えられないと、言われた。

目黒区産業経済・消費生活課の区員に、社会福祉協議会の助成金、給付金の件を尋ねると、その詳細の存在すら認識しておらず、井戸端会議のように多数区員が集まり、こんなものは知らない。

部署が違うから知らない、直接言って聞けと指示をされ、場所のみ指示された。

新型コロナで不安な時期に、頼れるのは区員のアドバイスにも関わらず、何も知らず、アドバイスもできず、ホームページで情報を得ようとしても、分かりにくい。

同時に新宿区に出向くと、親切に『期限、今後の対策、対応』を説明してくれ受けられるであろう可能性のある『給付、助成金、持続金、の種類』も同時に説明をしてくれた。

とにかく目黒区は不親切で、区員のスキル＝能力も低く、プライドは高く発言が上から目線である。

改善教育して欲しい。